

令和7年度 第59回 中学生の「税についての作文」

東京納税貯蓄組合総連合会会長賞

『恩恵の恩返しと未来への投資』

町田市立金井中学校 3学年 奥住 綾音

私達は様々なところで税を払い生活しています。ですが、私は度々税金を払っても無駄ではないかと感じることがありました。それは自分がまだ子供で、税金はあまり関係がないと思っていたからです。しかし、そのことを母に話すと「子供達は多くの恩恵を受けている」と言われ、その理由について知りたいと思うようになりました。

税金が何に使われているのか調べていくと、興味をひかれる情報に出会いました。東京都のある区のホームページでは、税金の使い道についての詳しい記載がありました。その内訳は、民生費の割合が一番高く、子育て支援や高齢者、障がい者福祉などに使われており、また教育費にも多く税金が使われていることがわかりました。

このことを知って、確かに私は税金の恩恵をたくさん受けていたのだと感じました。当たり前のように通えている学校も、私が快適かつ健康にここまで生活できたことも税金の支えがあつて成り立っていました。日常の当たり前は税金があるからこそ受けられるサービスであり、決して当たり前のことではなかったことも理解できました。

私は過去に交通事故に遭い、大けがをしたことがあります。近隣

の救急車が不在で少し離れたところから急いで駆けつけてくれた救急隊や、優しく声をかけてくれた警察の方々は私や家族の不安を和らげ、支えてくれました。もし、人々が税金を払うことをやめてしまったら、こうしたサービスも利用できなくなるかもしれません。私達が当たり前だと思っているサービスを見つめ直し、知ろうとしていくことがこそが私達が不自由なく生活するために大切なことだと思います。

メディアでは、大人達の税金に対する不満や負のイメージがたくさん報道されています。「税金を支払っているのに恩恵が少ない」「税金が無駄遣いされている」と多くの人が感じているようです。しかしながら、私は税金について調べたことで、違う考えを持ちました。私は今、少しの税金しか支払っていません。大人になると今よりもっと多くの税金を支払うことになります。中にはそのことに不満を持つ人もいるかもしれませんが、それは過去や未来に受ける恩恵の恩返しであり、次の世代への投資であると私は考えます。自分達が生涯にわたり受けるサービスを知らなければ、税金に負のイメージを持つてしまうかもしれません。まずは私達が税金に関して無関心であることから改めていくべきだと感じます。税金について深く知ることの大切さを広めていくことこそ、社会をより良くするための一歩だと考えます。私は今まで受けた恩恵の恩返しをするため、そして未来の子供達のために税金を払っていこうと強く心に決めました。